

第四十五日目

師 範：アメリカの独立戦争を支援したフランス国王は、戦費を市民への増税でまかなおうとしました。

国王は、三部会という身分による代表者会議を開いて増税を認めさせようとしてきました。



これに反発して市民は、三部会とは違う国民議会を開きました。

国王は国民議会を武力で弾圧したので、パリの民衆はいかりました。地方でも領主の館を襲って土地や借金の証文を破り捨てました。

ところがそのころは小麦が凶作で、パンが値上りしていました。

生活に困った都市の貧しい市民たち、とくに女性たちは抗議を行い、市民の革命に合流しました。

国王の政治に反対した政治犯が以前捕らえられていたバスティーユ牢獄をおそって占領しました。

フランス革命が始まったのです。フランス人権宣言を発表しました。

しかしこの革命は10年間も続くうちに過激に走りすぎて、恐怖政治に変質し、国民からの支持を失うことになりました。

1789年 フランス革命がおこる。

この年を覚えましょう。

ペン太：お父さんは



「火縄くすぶるバスティーユ」

と覚えたそうです。

「ひなわ」は178、「く」は9ですね。

コン太：こんなのも考えられます。



「また一つ飛躍したフランス市民」

「一つ」は1でいいのですが、「ひやく」は789です。飛躍していますかね。

師 範：789と数字が並ぶので、わかりやすい年号ですね。

1783年夏に浅間山の大噴火があり、噴煙が上空に拡散し、気流に乗ってヨーロッパの方にも及び、太陽の光をさえぎったということが考えられます。

そのころヨーロッパでも浅間山よりも大きな噴火があり、噴煙によって曇りがちになりました。

両方の理由でヨーロッパの作物は影響を受け、不作になった。小麦が不作でパ

ンの値段があがったということです。

ある学者は、フランス革命の一因に浅間山大噴火をあげました。

田沼意次の政治のころです。

また、この1789年、独立したアメリカ合衆国では合衆国憲法にそって初代大統領が選ばれ、ワシントンが就任しました。